

「まなこ」は文字通り「眼」。人やまちや文化や地球を、男女共同参画の視点＝「まなこ」で見たいこう！という思いで名付けられました。1991年創刊以来、市民が企画・編集にかかわっています。

# まなこ

manako.  
まなこ

特集  
身近なことから始めよう

## DV ドメスティック・バイオレンス 本当にならぬ関係ない？



\* 知りたい！  
なぜDVが起きるのか？  
\* この人に会いたい！  
「アウェア」竹内由紀子さん

### BOOKS

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書から



**気づいて乗りこえる**  
～精神的DVに悩む女性のためのガイドブック～  
長谷川七重+グループしおん 著  
人と情報を結ぶWEプロデュース発行

言葉や態度による暴力は被害者自身が自覚していないことも多いものです。目に見えない心の傷は身体の痛み以上に辛い場合があります。項目ごとのチェックリストで、自分の心身の状態や受けているコントロールの特徴・レベルなどがわかります。グループしおん(被害者自助グループ)とカウンセラーと一緒に作り直しました。



**DVD ずっと一緒にいたいから**  
～あなたと私とデートDV～  
制作：早稲田大学平山都夫記念ボランティアセンター(WAVOG)

「デートDV」は恋人など結婚前の男女間で起こる暴力のことを言い、本作は早稲田大学の学生が中心になって企画・制作した「デートDV」防止のための啓発DVDです。彼と彼女のより良い関係を築くために、彼ら自身も「デートDV」に向き合いました。暴力シーンや難しい法律の説明もなく、6～7分で観ることができます。ご覧になりたい方は、むさしのヒューマン・ネットワークセンターまでお問い合わせください。

武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター2階  
TEL・FAX 0422 (37) 3410  
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp  
URL http://www.mhnc.jp/

#### 男女共同参画社会とは？

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第二条より)

#### \* STAFF \*

レポーター：開地京子 小泉真木子 清水順子  
野坂謙二 三上かおり 吉羽真理子  
渡邊絵里  
取材・編集：作部径子(編集長) 遠藤梨栄 菅野理恵子  
清原理恵 林 直子 守谷洋子  
編集協力：栗原 毅  
イラスト：きたもりちか  
デザイン：上田ジュンコ  
印刷：巧芸印刷株式会社

『まなこ』は市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンター、市内の医療機関、美容院、大型店舗、金融機関、おふろやさんなどに置いてあります。バックナンバーをご希望の方は、市民協働推進課男女共同参画担当まで。

### 平成21年度『まなこ』第2回レポーター会議

75号「みんなでやればラクラク家事！」を読んで  
男性で主夫をしている人は、それを自ら選択してやっていると思う。自分の行動を説明できるということだ。また主夫になることによって、男性が地域に目を向けることにもなる。その良さを感した。(50代女性)  
女性と男性の役割がただ交換されるだけでは意味がない。(40代女性)  
私は家族のために、家族がいない時に自分だけで家事をやっている。家事を理解してもらうためには、家族がいる時にやった方がいいかもしれない。(30代女性)  
男性もいつかは定年になって、仕事よりも生活に向き合うようになる。生活技術を持たなくてはいけないと思う。(70代男性)

76号「DV(ドメスティック・バイオレンス) 本当にならぬ関係ない？」にむけて  
DVの受け止め方は人によって違う。いろいろな意見に流されないように、誌面構成をしてほしい。(50代女性)  
表面に出ないDV被害が多いのではない。(40代女性)  
DVと児童虐待の関連を知りたい。(70代男性)  
夫婦げんかとDVの違いを知りたい。(40代女性) (70代男性)  
DVのチェックリストがあるといい。(30代女性)  
身近な例が知りたい。(40代女性)  
解決した例や解決方法も知りたい。読者の救いになるのでは。(70代男性)



7月15日(水)  
10:00～12:00  
市役所604会議室にて

#### Editors' Notes 編集 \* 後記

体も心も深く傷つけるDV。身近な間柄だからこそ、相手への敬意と思いやりが欠かせない。(遠藤梨栄)  
身に余る大きなテーマだった今号は、他のスタッフ方に迷惑をかけてばかりでした。反省あるのみです。(菅野理恵子)  
親の背中を見て子は育つ。この夏休み、反省しきり。(清原理恵)  
話題作、村上春樹「1Q84」ではDVの話も重要なテーマだ。暴力とは何なのか？考える数か月でした。(林 直子)  
方向音痴の私はよく「ここはどこ？」。GPSを買ったら「あら便利！」。自転車でもスーイスイ。(守谷洋子)  
◎ 1月15日発行の77号は「チャレンジャー」自分で自分の仕事をつくる(飯)を特集します。新しい働き方を探してみませんか？

21年度「まなこ」年間テーマ  
**身近なことから始めよう！**

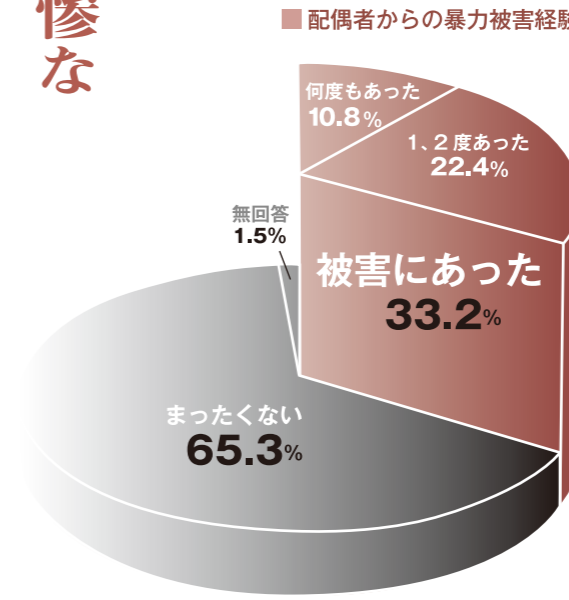
「これって普通」と思い込んでいたら、大事なことを見落とすことも…。意識しないでやっていることが、あなたを縛っていることもあります。身近な関係を見直してみましよう。

# DV

ドメスティック・バイオレンス

# 本当にわたしには関係ない？

新聞やテレビで連日のように報道されるDVの傷害事件や殺人事件。私には関係ないわ！と思っていませんか？  
 実は、結婚したことがある女性の3人に1人が配偶者（事実婚等を含む）から身体的暴行・心理的攻撃・性的強要のいずれかの行為を1度でも受けたことがある、という調査があります。自分にも関わりのあることとして考えてみませんか？



※内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」2008年

## DV（ドメスティック・バイオレンス）とは？

DVとは夫婦や恋人など近い関係のパートナーから受ける虐待や暴力のことを言います。DV被害者の大部分が女性であることを重視し、身近な男性から女性を受ける虐待や暴力について特集します。日本では長い間、配偶者からの暴力は、夫婦げんかなどとみなされ、家庭内の問題として扱われてきました。被害者も世間体や経済的事情などの理由から我慢することが多く、被害の発見は遅れる傾向にあり、問題は深刻化・潜在化しがちです。

### 身体的暴力

殴る、蹴る、叩く、刃物などをつきつける、首を絞める、髪をひっぱる、物を投げつける、引きずりまわす、子どもやペットにも手を出す など

### 精神的暴力

無視する、ののしる、見下す、バカにする、怒鳴る、おどす、洗脳する、監視する、常に反対する、従属させる など

### 性的暴力

性行為の強要や避妊の非協力、ポルノ画像や雑誌などのわいせつなものを無理やり見せる など

### 経済的暴力

生活費を渡さない、あるいは少ししか渡さない、生活費をチェックする、お金を奪ってしまう、仕事を制限する など



## こんな悲惨なDV被害

DV被害のもっとも恐ろしい影響は、被害者の自尊感情を傷つけ、立ち上がる気力もなくさせるような人格破壊です。そのため、逃げたくても逃げられない、という状況に陥ります。また逃げるために住む場所も貯金も人間関係も失ってしまうことが起こります。PTSD（心的外傷後ストレス障害）やうつ病などに苦しむケースもあります。

## 周囲の無理解でさらに被害が...

被害者にとってさらに過酷なのが周囲の無理解です。「あなたの我慢が足りない」「なぜ逃げないの?」といった被害者を批判する言葉は、被害者を傷つけ、また暴力を容認してDVを助長しかねません。二次被害を避けるためにも正しい知識が必要です。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

## 子どもへの影響

DVのある家庭で育つ子どもたちは、家庭での暴力行為を目撃することで大きな影響を受けます。身体的な不調を訴えたり、精神的な症状が出ることも。また学校や社会生活で問題を起すこと、成長してからは自分自身がDV当事者となることもあります。

## 武蔵野市はこう考えます

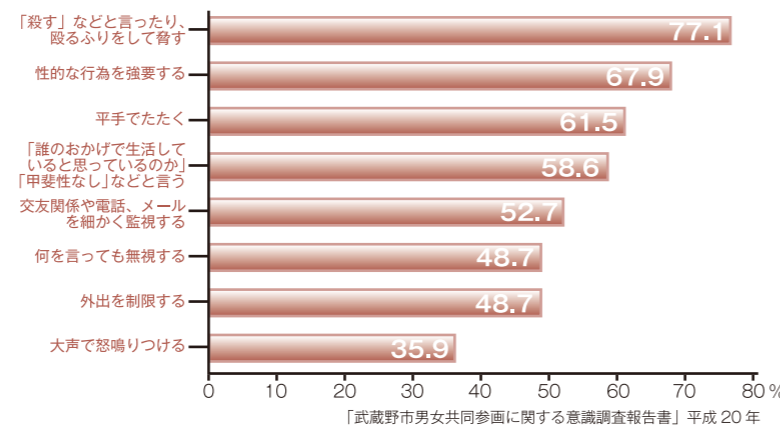
武蔵野市では、平成20年7月に「男女共同参画に関する調査」を行い、DVについても調査しました。

調査によると、「どんな行動を暴力と思うか?」という問いに〈平手でたたく〉といった直接的な暴力だけでなく、〈誰のおかげで生活しているか〉、〈甲斐性なしなど言う〉〈交友関係や電話、メールを細かく監視する〉〈何を言っても無視する〉などの行為を、50%前後の人たちが「暴力にあたると思う」と回答しており、精神的な暴力についての認識が得られていることがわかります。これは、内閣府が平成21年にまとめた同様の調査と比較しても高い水準で、武蔵野市民が暴力に対してより厳しい意識を持っているといえます。

そして「DVについて見聞きしたことがあるか?」に〈自分が直接被害を受けたことがある〉と回答した人は女性で9.1%、〈被害にあっている人を知っている〉女性20.4%を加えると、市内の3割近くの女性がDVの被害を身のまわりで感じていることが明らかになりました。

武蔵野市では、男女共同参画のまちづくりをめざしてたしかに一歩を踏み出すために、平成21年に第二次男女共同参画計画を策定し、「女性に対するあらゆる暴力の根絶と予防」「DVなどによる被害者への支援の体制確立」にも努めていきます。

### 配偶者間でのどんな行動を暴力にあたると思いますか?



## Check List チェックリスト

もしかしてあなたは？  
 あなたのパートナーは？  
 確かめてみましょう

### あなたの周りの人は大丈夫？

- つきあいが悪くなった。
- 電話をかけると、すぐ切ろうとする。
- あざやケガがある。
- 元気がないし、顔色も悪い。
- 経済的にたいへんだとこぼす。
- 怒鳴り声があると近所の人が話していた。
- 子どもの世話をしていない。
- 身なりを気にしなくなった。
- パートナーが家にいるときは外出できない。

### あなたはこんな風に考えていない？

- 携帯をチェックするのは、私のことを心配しているからだ。
- 何事も自分を優先しろと彼が言うのは、愛されているからだ。
- 髪形やファッションは相手の好みに変えたほうが良い。
- 彼が殴ったのは私が悪かったからだ。
- 女性から避妊の話をするのは恥ずかしい。
- いやだと思っても“NO”と言えない。
- 彼にリードしてほしい。
- セックスを断ったら、彼に嫌われる。

### あなたのパートナーは大丈夫？

- 機嫌が悪いと返事もしない。
- 重要なことでも、勝手に決めてしまう。
- いやがっていることを無理強いする。
- 帰宅が夫よりあとになったら、文句を言う。
- 小さなことでも報告しないと怒る。
- 私が失敗したことを何回も言う。
- 言い訳をしたら、殴ってくる。
- パートに出たいが、だめだと言う。
- 自分の思うようにいかないと怒り出す。
- 暴力をふるった後、とてもやさしくなる。

### ▶ 男性の皆さん、あてはまることはありませんか？

- 妻が頼んだことをやっていたので、怒鳴った。
- 自分の給料は、自由に使う権利がある。
- 夫のセックスの要求に応じるのは妻の務めだ。
- 夫が在宅時、妻はいつも家にいるべきだ。
- けんかのときに妻が生意気なので、殴るふりをして脅した。